

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1340045	__ 001
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	一般ごみ収集					
担当部名	環境部		担当課名		環境一課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	20	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	一般廃棄物(家庭系普通ごみ・カン・ビン・ペットボトル・学校生ごみ等)の適正処理、快適な都市環境づくり。					
内容 (手段・手法など)	一般廃棄物の収集・運搬(粗大ごみ収集を除く。)					
事業の 対象	何を	一般ごみの収集・運搬				
	誰に	岐阜市民及び学校				
	どのくらい	普通ごみ:週2回 / カン・ビン・ペットボトル:週1回 / 学校生ごみ:随時 / 家庭用廃食用油:月1回 / プラスチック製容器包装:週1回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	4月1日より、プラスチック製容器包装(週1回)収集開始。令和3年度末で発泡スチロール(月1回)の回収を終了。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	752,050	23,140	747,422	23,140	735,852	23,140
パートタイム会計年度任用職員A	111,240	10,800	111,240	10,800	109,080	10,800
パートタイム会計年度任用職員B	672	140	672	140	700	140
計(A)	863,962	34,080	859,334	34,080	845,632	34,080

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		982,646	1,096,243	1,410,002
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	一般家庭ごみ収集委託	550,205	674,805	676,575
	ビン・カン・ペットボトル分別収集	226,600	247,500	247,500
	プラスチック製容器包装収集委託	0	0	277,230
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		982,646	1,096,243	1,410,002

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,846,608	1,955,577	2,255,634

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	5,108	4,332	4,081
その他	0	0	0
計(F)	5,108	4,332	4,081

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,841,500	1,951,245	2,251,553

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,512	4,801	5,587

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	収集日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	312		311	311
実績値	312		311	311

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	一般廃棄物受入量		単位	t
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	129,000	129,000	129,000	
実績値	120,813	119,776	102,794	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには、必要不可欠である。 法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	災害時のリスクを踏まえ直営による収集運搬を残しながら、一部の収集運搬業務について委託化を進めていく。 民間事業者へ収集運搬業務の一部を委託している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	ごみ減量に一生懸命取り組んでいる市民とそうでない市民とで、公平な負担になっていない状況にあると思われる。公平な受益者負担とするための方策について、検討する必要がある。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1340045	__ 002
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	粗大ごみ収集					
担当部名	環境部		担当課名		環境一課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体		岐阜市
開始・終了年度	昭和	40	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・乾電池等)の適正処理、快適な都市環境づくり。					
内容 (手段・手法など)	一般廃棄物(粗大ごみ・廃蛍光管・乾電池等)の収集、指導、電話予約受付(粗大ごみ受付センター)、粗大ごみオンライン受付					
事業の 対象	何を	粗大ごみ・廃蛍光管・乾電池収集				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	随時				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	令和4年10月1日から、粗大ごみオンライン受付を開始。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	152,100	4,680	151,164	4,680	148,824	4,680
パートタイム会計年度任用職員A	6,180	600	6,180	600	6,060	600
パートタイム会計年度任用職員B	34,560	7,200	34,560	7,200	36,000	7,200
計(A)	192,840	12,480	191,904	12,480	190,884	12,480

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	粗大ごみ収集委託	267,445	295,760	295,760
	廃蛍光管・乾電池収集	17,538	11,408	15,336
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		284,983	307,168	311,096

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	477,823	499,072	501,980

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	260,171	249,949	242,367
その他	0	0	0
計(F)	260,171	249,949	242,367

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	217,652	249,123	259,613

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	533	613	644

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	粗大ごみ収集日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	243	243	243	
実績値	243	243	243	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	粗大ごみ排出量		単位	t
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6,962	5,600	7,266	
実績値	6,990	6,746	6,357	
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の衛生的な生活環境を維持するためには必要不可欠である。 法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	コロナウイルス感染症による在宅時間の増加により、粗大ごみの排出量が増加しており、民間事業者を活用しながら、安定した収集の維持に努めている。 既に民間事業者に収集運搬業務の一部を委託している。また、収集運搬業の許可を民間事業者に出している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	市民の衛生的な生活環境の維持に寄与している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者及び受益者負担は適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。 市民からの排出量の増加に伴い、受付業務の見直しと受付の利便性向上のため、オンライン受付システムを導入した。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340045 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	都市美化清掃ごみ収集					
担当部名	環境部		担当課名	環境一課		
実施方法	その他	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	20	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	一般廃棄物(都市美化活動ごみ)の適正処理、快適な都市環境づくり					
内容 (手段・手法など)	自治会や河川の管理者等、清掃活動を行う当事者からの連絡により、一般廃棄物(町内清掃や河川敷等の都市美化活動ごみ)の収集を行う					
事業の 対象	何を	町内清掃等で出たごみの収集				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	随時				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	25,350	780	25,194	780	24,804	780
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	25,350	780	25,194	780	24,804	780

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		5,026	5,238	5,640
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	自動車借上	5,026	5,238	5,640
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		5,026	5,238	5,640

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	30,376	30,432	30,444

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	30,376	30,432	30,444

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	74	75	76

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	都市美化清掃収集量			単位	kg
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	500,000	500,000	500,000		
実績値	361,307	503,340	343,000		

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	都市美化清掃依頼件数			単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	800	800	800		
実績値	503	640	775		
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	市民の衛生的な生活環境を維持及び快適な都市環境づくりに必要不可欠である。 法により、市内の一般廃棄物の適正処理に必用な措置を講ずることは市の責務であり、必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	直営収集と民間業者借上げ等を適切に組み合わせることで市民が集めた廃棄物を効率的に収集することができる。 都市美化清掃の収集運搬業務の一部を既に民間事業者に委託している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	市民の衛生的な生活環境を維持及び快適な都市環境づくりに寄与している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	受益者及び受益者負担は適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340045 \_ 004

## 【1.基本情報】

事業名	不法投棄防止対策					
担当部名	環境部		担当課名	環境一課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	11	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	廃棄物の適正処理の徹底を図り、不法投棄を未然に防止するとともに、不法投棄に対しては厳正な態度で対応し、快適な都市環境づくりに寄与する。					
内容 (手段・手法など)	不法投棄防止対策の強化(不法投棄防止週間・年末・年度末の夜間パトロール、不法投棄張り付け監視、不法投棄監視モニターの委嘱等)					
事業の 対象	何を	不法投棄防止対策				
	誰に	不法投棄者				
	どのくらい	随時				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	118,300	3,640	117,572	3,640	115,752	3,640
パートタイム会計年度任用職員A	12,360	1,200	12,360	1,200	12,120	1,200
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	130,660	4,840	129,932	4,840	127,872	4,840

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		2,141	1,291	1,575
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	夜間パトロール委託	1,221	921	1,575
	処理困難物回収等処理業務	920	370	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,141	1,291	1,575

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	132,801	131,223	129,447

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	132,801	131,223	129,447

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	325	323	321

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	不法投棄通報及び処理件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	700	700	700	
実績値	773	547	621	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	夜間パトロール件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	50	50	50	
実績値	42	31	54	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	快適な都市環境づくりのためには、必要不可欠である。 廃棄物の適正排出を促す方策として、ルール啓発と違反者の取り締まりは一体として必要であり、行政が主体的に実施すべきものである。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	夜間パトロール等で民間事業者を活用している。 夜間パトロール等で民間事業者を活用している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	不法投棄件数は、年々増加する傾向にあるが、早期に発見することで不法投棄拡大の防止に寄与している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	警察等との連携を図りつつ、投棄行為者に対し、厳正な態度でのぞむ必要がある。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	一般廃棄物処理は、市の責務であるため現状維持する。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340045 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	プラスチック製容器包装分別収集啓発事業					
担当部名	環境部		担当課名		環境一課	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	29	年度～	年度	根拠法令・関連計画	ごみ減量・資源化指針

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	プラスチック製容器包装の分別収集について、市民を対象にした説明会等を開催し、令和4年度実施の同事業を円滑に進める。					
内容 (手段・手法など)	自治会や各種団体、小中学校に対して出前講座を実施し、プラスチック製容器包装の分別収集の目的やその仕組みについて、市民の理解を深める。					
事業の 対象	何を	プラスチック製容器包装の分別収集				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	毎月複数回の出前講座等				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,795	86	2,778	86	3,498	110
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,795	86	2,778	86	3,498	110

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	1,327	0
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	印刷物刊行費	0	535	0
	チラシ配布委託	0	704	0
	岐阜バス電子広告料	0	88	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	1,327	0

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,795	4,105	3,498

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,795	4,105	3,498

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	1,655	3,860	1,804
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,689	1,063	1,939

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	出前講座の開催回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	50	100	50	
実績値	53	125	55	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	出前講座の参加者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1,000	3,000	1,000	
実績値	1,655	3,860	1,804	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	令和4年度から実施のプラスチック製容器包装の収集業務の円滑な導入を図るため、必要な啓発活動である。 一般廃棄物の処理は基礎自治体が行う業務であり、ごみ減量・資源化も市が実施すべきである。 令和4年度から実施のプラスチック製容器包装の分別に絞って啓発する必要があるので、統廃合は困難である。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	ごみ減量・リサイクル講座やイベントを活用し、情報発信している。 広域、民間活用は困難であり、市民協働による取り組みも難しい。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	事業内容が市民に広く浸透してきており、講座を使った啓発は有効である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	令和4年4月から開始されたプラスチック製容器包装について、引き続き、市民の理解を深めるため啓発事業を継続していく。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和4年4月から開始されたプラスチック製容器包装について、引き続き、市民の理解を深めるため啓発事業を継続していく。